

(公社) いわき青年会議所 常任理事運動方針

地域グループ

常任理事 原田 雄介

1 いわき市の誕生以降、絶えず旧 5 市間の地域の壁の存在がささやかれ、その広域性、多
2 様性は十分な合併効果を発揮したとは言い難い現状がありました。我々は「いわきの広域
3 性、多様性を最大限に生かし、ほかのどのまちにもない、たった一つの誇りを持てるいわ
4 きを創り上げたい」その志のもと、次世代社会により良いまちを引き継ぐために、ひとつ
5 になったいわき J C だからこそできるまちづくりを、市民に先駆け進めることが必要です。

6 まずは、市民がいわきを愛するきっかけを創るために、いわきの歴史・文化を調査研究
7 し、郷土芸能やほかのまちにはない魅力をより浸透させ、故郷を誇れる環境を整える基盤
8 を創ります。そして、市民一人ひとりの故郷を想う意識を向上させるために、いわきの魅
9 力あるたからを市民へ力強く効果的に発信するしくみを官民の連携を強めながら一体とな
10 って調査研究し、市民が故郷の魅力に共感する運動を展開することで、市民が自らその魅
11 力を文化として発信できるきっかけを創ります。さらに、魅力ある故郷の独自性を観光資
12 源のひとつとして戦略的に活かしていくために、その独自性を我々だけではなく多くの方
13 々と共に磨いていくことで、いわき市の観光都市としての将来の構想を明確にします。ま
14 た、震災後避難を余儀なくされた双葉郡の方々と共に暮らす環境で、浜通りの一部として
15 の今後のいわきの進むべきビジョンを明確にするために、いわき市と双葉郡が現在置かれ
16 ている状況を調査研究するとともに、広域的な都市間の連携の重要性を市民に対して広く
17 発信し、いわきに住む全ての方々が共に幸福な生活を送れる環境を創る運動を展開します。

18 いわきに住む多くの方々が、自身の地域の特殊な環境を理解し共有を始め、地域愛を育
19 み、他の地域の方々との交流を図り、より自身の地域の独自性を実感した時、真に自らの
20 地域に誇りを持てる環境が整い、強い発信力と広域性を活かした強固なまちを創造します。

21

22

23 <運動方針>

- 24 1. 潜在する地域資源によるいわきの活性化
- 25 2. いわきの特性を活かしたまちづくりの推進
- 26 3. 戦略的な地域経営に資するビジョンの確定